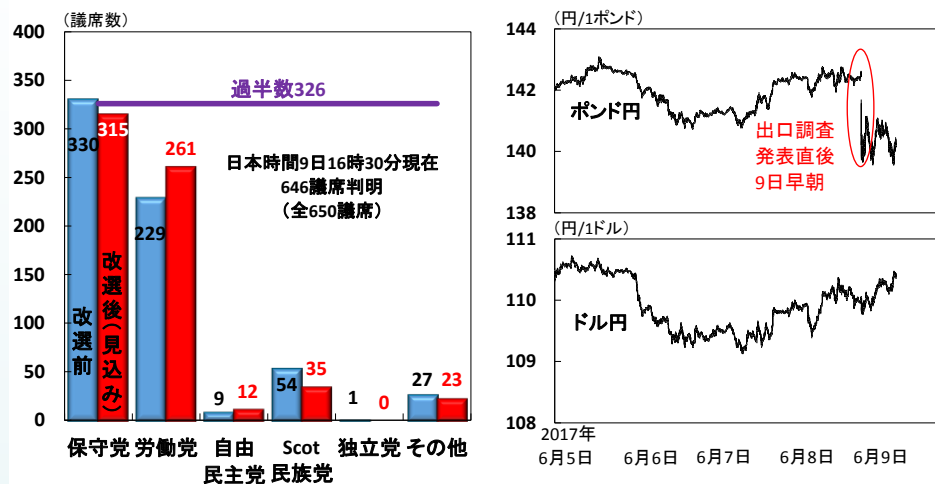


英総選挙(未確定) メイ首相の思惑は裏目。保守党は改選前議席を減らし過半数割れ

【図1】(左)英下院選議席数(見込み)、(右)英ポンド円(上)ドル円(下)



【図2】(左)英経済信頼感と実質GDP、(右)英消費者物価と政策金利



■英下院選は与党保守党が過半数を維持できず

8日実施の英下院選は、メイ首相率いる与党保守党が第1党を維持も過半数に届きませんでした。日本時間9日朝6時頃に発表された出口調査では、保守党は314と改選前議席を減らすと共に過半数326割れ、一方野党労働党は266に議席を伸ばすとの予想(数字は議席数、図1左)でしたが概ね出口調査に近い結果となる見込みです。この出口調査結果は為替相場を直撃、英ポンド(対円)は一時的に1ポンド140円を割(図1右)、但し他通貨への影響は目下軽微、波及は限定的といえましょう。

■「改選前議席減らした保守党、増やした労働党、自由民主党」の意味は大きい

保守党が議席を減らし、労働党と自由民主党が議席を伸ばした意味は大きいといえます。後者の2党は共にEU(欧州連合)との自由貿易等、既存の枠組みを維持するBREXIT(英国のEU離脱)を公約に挙げ、保守党はEUと新たな関係の構築を目指すとしています。保守党はBREXIT戦略の軌道修正が不可避となりましょう。

■難航予想のBREXIT交渉、その前に連立交渉も難航か

今回の出口調査の結果から政権の枠組みを予想すると、保守党にとっては改選前から3議席伸ばし12議席となる見込みの自由民主党の存在が殊更大きく見えます。連立模索は保守党にとって必要不可欠なためです。しかし、自由民主党は保守・労働いずれの党とも連立は否定、同党公約はEUとの関係を維持したいとの意向が色濃く映る内容です。難航予想のBREXIT交渉を前に連立交渉が難局に直面すれば、民間のマインドは軟化、景気を冷やす可能性もあります(図2左)。

■BOE(英中銀)も今後、難しい舵取りを迫られる

今回の選挙は15日のBOE金融政策委員会にも難題を落としましょう。英ポンドは昨年中央、急激にその価値を落とし(図2右)国内物価上昇率は加速、国内景気の先行きも不透明な中、BREXIT交渉の進展が不安視されれば一段の通貨安に見舞われ、景気減速下での利上げを余儀なくされる事態も想定されます。(徳岡)

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。本資料は、投資勧誘を目的とするものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況であり、また、見通し・分析は作成時点での見解を示したものです。したがって、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等は考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJ国際投信戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJ国際投信が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会